



写真中央が昔の福田湊跡

太田川の流れが、先人達の努力でほぼ現在のようになつて遠州灘に注ぎ、福田湊が開かれたのは、江戸時代の初期といわれている。

江戸時代の文書に太田川流域の幕領や、旗本知行地の江戸送りの年貢米は、川船で福田湊に運ばれ、そこから回漕問屋へ委託した記録がある。

当時としては舟運に頼ることが廉価で、早く荷を届ける方法であった。

福田郷土史に福田湊には、常に大小一四・五隻の船が停泊中には五百石積、八百石積の帆船、明治の初めには、蒸気船も混じっていた。

福田湊は掛塚と並ぶ遠州灘の要港となり、出船入船で賑わう物産の集散地として繁栄した。

明治22年、鉄道の開通で貨物を鉄道輸送に奪われ、湊は衰退していった。

〈袋井市 山本龍雄〉



太田川情報編集局企画

この指とまれウォーク第2弾

原野谷川・なりこの里探訪

錦繡に彩られた里山を眺めながら、原野谷川の清水に沿って散策しました。
街中では味わえない自然豊かな秋を体いっぱい感じ、爽りある時間を過ごしました。

秋を感じた小さな旅

素晴らしい日本晴の中、秋の里山風景が目の前に広がり、兩岸の紅葉は今を盛りと川面に色を添えています。木造の古い建物があり小学校跡との事、自分の小学生の頃と想いが重なってきます。大尾山登山口まで行くと原野谷川がにぶく光り小鳥の声も聞こえます。向こう側の山並も黄色く色づき、これぞ「日本の秋」。「イスノキ」があると聞きお宅へお邪魔し、御夫婦のお話ではマンサク科の常緑高木、高さ15m、4〜5月頃深紅色の花をつけ葉に虫こぶが出来、そのこぶを吹くと笛の様な素朴な音がします。

秋を体で感じた小さな旅で
〈警田市 寺田政裕〉



イスノキの前で記念撮影

原野谷川の清流つたいに歩を進めると、まぶしい程黄色にオシヤレした大イチョウの木。「ずっと昔からここに居るよ」と言わんばかりに根をふんばっていた。もうちょっと上を向いて行くと「イスノキ」のお屋敷。静かに年を重ねたであろう御夫妻が迎えてくださり、何ともメルヘンチックな現象(10月末頃青い光を放つて

晩秋の原野谷川



虫袋から一斉に飛び立つ)のお話を聞かせて頂いた。朽ちた倒木を横に見ながら古い神社を通り抜け、昔懐かしい木造の小学校跡に出くわす。それはもう童心にタイムスリップ。心地良いウォーキングの疲れが心をいやすひとときであった。

今度は夏にでも訪ねて素足で川のせせらぎにひたりたい。
〈警田市 池田久仁子〉

「この指とまれウォーク」第3弾

詳細は中面をご覧ください。

今日は約1時間ゆっくり歩くことができました。紅葉も見れたし、イスノキの説明も聞けてよい思い出になりました。
〈警田市・中学生〉

参加者の声

お知らせ

千代と一豊・掛川館

- 日時/平成18年1月21日(土)~12月17日(日) 9:00~17:00(11月1日以降は16:30まで)
- 場所/掛川城公園本丸広場
- 内容/山内一豊が10年間城主として在城した地として、大河ドラマ「功名が辻」の舞台となる掛川。ドラマにちなんだ世界が体感できる。観てから見るとドラマはもっと面白い!〈入場料:大人500円・小中学生250円〉
- 問い合わせ先/掛川観光案内処 ☎0537-24-8711

遠州大名行列・舞車

- 日時/平成18年4月29日(土) 11:00~20:30
- 場所/見付宿場通り
- 内容/7回目を迎え、趣向を凝らしたイベントが盛りだくさん。メインイベントの「大名行列・舞車おどり」に続き、フィナーレは幽玄の世界に誘う「舞車」をお楽しみに!
- 問い合わせ先/警田市観光案内所 ☎0538-33-1222

第34回 緑と太陽と親子の集い

- 日時/平成18年5月14日(日) 10:00~14:00
- 場所/原野谷川親水公園
- 内容/親子で楽しめるイベントが盛りだくさん。みんな遊びに来てね!
- 問い合わせ先/袋井市生涯学習課 ☎0538-23-9268

太田川情報編集局とは...

「太田川を知ること・見ること・情報を共有することで、太田川水系に関わる人のつながりをつくろう」という袋井土木事務所の呼びかけにより、平成15年11月から活動しています。『てくてく太田川』の編集・発行を中心に、太田川流域のさまざまな情報を、広くみなさんに伝えていきます。

太田川情報編集局

青島 勝、安間美恵子、上原恒雄、上原英子、大石佳典、斉藤直美、鈴木和男、鈴木ふみ子、福井亨治、池田久仁子、大石光泰、大庭 幸、鈴木隆之、松下三郎、寺田政裕、酒井貞江(以上警田市) 池野眞市、北島金三、門名親宏、下川恭子、下川 紗、鈴木信弘、鈴木敦子、山本龍雄、渡瀬 儔、鈴木光芳、田中文規、森下和男(以上袋井市) 金田修哉(掛川市) 浦上治男、岡野良隆、平田克彦、辻 克美(以上森町)

太田川の仲間達 活動団体紹介

「ひょうたん池」自然を考えよう会

旧警田市のほぼ中心地の安久路川沿いにひょうたん池があります。この池の自然を守り、市民の憩いの場づくりの為に活動している団体が「自然を考えよう会」です。会員数141名、豊富な湧水と水生植物、魚類、鳥類、トンボ類等が生息しており安久路川の桜堤、遊歩道と一体となり、大勢の市民に親しまれています。又、会員による池の整備、動植物の保護、水辺の遊

び場づくり、観察会、講演会等と活動し、数々の表彰も受けております。小さくても大きな魅力いっぱい池を一度訪ねてみませんか。
〈袋井市 渡瀬 儔〉

旧警田市のほぼ中心地の安久路川沿いにひょうたん池があります。この池の自然を守り、市民の憩いの場づくりの為に活動している団体が「自然を考えよう会」です。会員数141名、豊富な湧水と水生植物、魚類、鳥類、トンボ類等が生息しており安久路川の桜堤、遊歩道と一体となり、大勢の市民に親しまれています。又、会員による池の整備、動植物の保護、水辺の遊



おいしげる水草の除去作業中

■連絡先 ■西貝公民館 ☎0538-32-4853

袋井土木事務所 トピックス

二級河川太田川 河川改修事業



改修が進む太田川

袋井土木事務所では、二級河川太田川の河川改修事業を推進しています。この事業は昭和49年7月の七夕豪雨や、近年多発している異常気象に對して、太田川流域の皆さんが安心して暮らせるために必要な治水対策事業です。今後も、太田川ダム事業と一体となり、総合的な治水対策を展開していきます。

〈袋井土木事務所 石田安秀〉

ご意見、ご感想をお送りください。また、太田川水系の川に関する情報もあわせて募集します。太田川情報編集局事務局まで。

発行:平成18年3月1日
静岡県袋井土木事務所
〒437-0042 袋井市山名町2番の1
TEL(0538)42-3289 FAX(0538)43-0919
Eメール fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp
ホームページ http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/fukuroi/
編集:太田川情報編集局
(事務局:袋井土木事務所河川改良課内)

P20台 WC無

▼七夕豪雨の被害写真 (新貝地区)



冠水位



川幅を広げる工事を推進しています

新貝地区は昭和49年の七夕豪雨時に甚大な被害を被った地区である。新貝公民館には当時太田川からの流出により冠水した水位を示す柱がある。

7 新貝公民館



～歴史と民話の里を歩く～

太田川今・昔・物・語

磐田・東部篇

太田川の流域は、自然と歴史・文化の宝庫です！
太田川の流れを感じながら、歴史と民話の世界に浸ってみませんか？



P70台 WC ビジターセンター内に



2 桶ヶ谷沼

周囲1.7km 面積743ha 平均水深0.6m 県下有数の平地性淡水池沼。「ベッコウトンボ」を始め67種が確認されトンボの宝庫として有名。県自然環境保全地域に指定され、ビジターセンターでは展示やビデオの上映もある。

P40台 WC有



1 鶴ヶ池

周囲4kmの池で、以前は珍しい「ジュンサイ」の産地で京都方面に移出された時期もあった。カモ等の水鳥が多く水生植物に覆われ、隣りの桶ヶ谷沼とともに全国でも珍しい「ベッコウトンボ」などが見られる。

P有 WC有



9 鎌田神明宮

深い緑の森と数々の古墳に囲まれた豊作・学業成就の由緒ある神社。天武天皇の時代伊勢神宮外宮の、農業の神様「豊受大神」が鎌・鍬を持参し、この地にお渡りになったことに始まる。まっすくのびた参道の並木もまた必見。

P有 WC有



8 三白山連城寺

平重盛が建立したと伝えられている。江戸時代、中泉代官大草太郎左衛門により再興。灯明の光に映し出される清盛、重盛の位牌、新幹線工事の時古墳より出土した、『三角縁四神四獣鏡』を大切に保管。歴史を見守り続ける穏やかな寺である。

P有 WC有



石垣(百姓積み)



庭園

『百姓積み』といわれる石垣・萩とげなし山椒等々庭内は見どころいっぱい。



10 医王寺

聖武天皇の時代、行基菩薩により開基。江戸時代は八坊からなる名刹。明治初年住職松村淳高が遠州三大学のの一つ『坊中学校』建築。庭園は小堀遠州の作と伝えられ、参道の苔・紫陽花と共に梅雨の季節は特にすばらしい風情。

P70台 WC ビジターセンター内に



3 菜の花畑(岩井地区)

3月末に一斉に咲く菜の花畑は絶景。「菜の花循環システム事業」の一貫として「菜の花環境まつり」が予定されており、毎年大勢の見物客で賑わっている。

P無 WC無



4 三ヶ野松並木

東海道五十三次見付宿へとつづく松並木は徳川幕府が東海道路沿いに松を植え、街道を整備した。江戸時代の面影を現在も残している。磐田市内ではここ三ヶ野と東大久保に残されるのみである。

P無 WC無



鎌倉の道

5 三ヶ野坂七つ道

三ヶ野坂は、奈良時代から現代までの7時代の道路が1ヶ所で見られる。①奈良平安鎌倉時代 ②江戸時代 ③明治時代 ④大正時代 ⑤昭和時代 ⑥平成時代 ⑦間道(質道)などの道である。

P無 WC有



6 大日堂

三ヶ野坂の突端の山を大日山、俗に大日堂と呼んでいる。古くから民衆信仰の霊山、及び名所古跡として知られ、大日如来が祀られている。東を望むと太田川を隔てて袋井、小笠山まで遠望できる。徳川軍の「ろし」場でもあった。

太田川情報編集局の『この指とまれウォーク』第3弾

- 日時 4月2日(日)午前9時集合(雨天中止)
- 集合場所 磐田市立学校給食センター(※50台駐車可。医王寺すぐそば)
- 参加料 無料(事前申込み不要)
- コース 給食センター→医王寺→鎌田神明宮→連城寺→新貝公民館→田原公民館→大日堂→七つ道→三ヶ野松並木→菜の花畑→桶ヶ谷沼→新貝公民館→給食センター
- 往復8km、約5時間のコース。
- 持ち物 弁当、水筒、タオルなど
- 主催 太田川情報編集局
- 問い合わせ先 袋井土木事務所河川改良課 TEL(0538)42-3289

.....はこの指とまれウォーク第3弾のコースです。